

# 身体に負担の少ない脊椎ヘルニア手術

低侵襲脊椎センター

副センター長 米井数基医師

2月から新たに、整形外科から低侵襲脊椎センターが設立されました。脊椎ヘルニアや脊柱管狭窄症などの患者様に対する内視鏡での手術を専門に行います。これまでも身体に負担の少ない局所麻酔での内視鏡下ヘルニア摘出術は多くの実績をあげ、関西でトップの手術件数を誇っています。米井医師に話を聞きました。



## 経皮的内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術(PED)とは

これは直径6〜7mmの内視鏡システムを用いて行う手術で、傷口が小さく、筋肉や骨を温存できる身体に負担が少ない(低侵襲)手術です。具体的には背中に8mm程の皮膚切開を行い、ここから内視鏡システムを挿入して、モニターを見ながら手術を行います。手術時間は約1時間で、症例によっては局所麻酔下での日帰り手術も可能です。

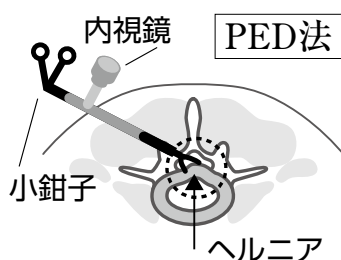
を受けて頂けます。このPED手術が日本で行われるようになったのは2003年です。また新しい手術で、整形外科の分野では難度が高く、術者も高度な技術が求められるため、実施する医療機関は多くありません。当センターは、これまでに4000例以上の脊椎手術を行ってきた坪井医師と私がすべての症例を担当しています。

## 治療を早く受けられます

整形外科では外傷や骨折など様々な症状の患者様を診察しており、脊椎疾患の患者様には手術を待機して頂かなければなりません。今回センターを立ち上げたことで、脊椎疾患の患者様にはより早く診察・手術を受けて頂けるようになります。PED内視鏡システムは3台、またMED内視鏡システムは2台完備し、現在1日に3〜4件の手術を行っています。

## ヘルニア以外の手術について

当センターではPED・MED以外の手術として脊椎固定術と椎弓形成術を行っています。脊椎固定術とは、圧迫骨折や脊柱管狭窄症の患者様でどうしても固定手術をしなければならぬ場合に行い



## 2019年1月〜12月における手術実績

局所麻酔下経皮的内視鏡手術 (PED、FESS)	128 例
全身麻酔下内視鏡手術 (PED、MED)	80 例
脊椎固定術および椎弓形成術	70 例

※上記の内容は他院での手術症例を含みます



## 診察時間及び担当医

担当医	月	火	水	木	金
坪井	○	—	○	—	—
米井	—	—	○	○	—

診察：月曜・水曜・木曜の午前中のみになります。

受付時間：8：30～11：00

従来の内視鏡下椎間板ヘルニア摘出術(MED)は16mmの内視鏡カメラを挿入して手術を行い、約1週間の入院が必要でした。これと比較するとPEDは傷口の大きさや身体への負担、入院期間が大きく軽減し、なかなか仕事を休めない方も手術